

商品名 トロンビン経口・外用剤1万「F」 医薬品基本情報

薬効	3323 臓器性止血製剤	一般名	トロンビン
英名	Thrombin	剤型	パウダー
薬価	1135.40	規格	10,000単位1瓶
メーカー	富士製薬	毒劇区分	

トロンビン経口・外用剤1万「F」の効能・効果

骨性出血、抜歯後出血、毛細血管出血、上部消化管出血、鼻出血、膀胱出血、外傷出血、実質臓器出血、手術中出血、小血管出血

トロンビン経口・外用剤1万「F」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、牛血液を原料とする製剤に対し過敏症の既往、アプロチニン製剤投与中、ヘモコアグララーゼ投与中、トラネキサム酸投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 網内系活性低下又はその恐れ・疑い、DIC、重篤な肝障害、播種性血管内凝固症候群	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

トロンビン経口・外用剤1万「F」の副作用等

1. ショック、呼吸困難、チアノーゼ、血圧降下、抗ウシ・トロンビン抗体を生じる、抗第5因子抗体を生じる、凝固異常、異常出血	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 過敏症、発疹、発赤、嘔気、嘔吐、発熱、頭痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 致死的結果、アナフィラキシー、血液凝固	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

トロンビン経口・外用剤1万「F」の相互作用

- 薬剤名等：ヘモコアグララーゼ

発現事象	血栓形成傾向	投与条件	-
理由・原因	凝固促進剤、抗プラスミン剤及びトロンビンは血栓形成を促進する薬剤であり、併用により血栓形成傾向が相加的に増大	指示	禁止

2. 薬剤名等：トラネキサム酸

発現事象	血栓形成傾向	投与条件	-
理由・原因	凝固促進剤、抗プラスミン剤及びトロンビンは血栓形成を促進する薬剤であり、併用により血栓形成傾向が相加的に増大	指示	禁止

3. 薬剤名等：アプロチニン

発現事象	血栓形成傾向	投与条件	-
理由・原因	アプロチニンは抗線溶作用を有するため、トロンビンとの併用により血栓形成傾向が増大	指示	禁止

トロンビン経口・外用剤1万「F」の配合変化

1. 薬剤名等：酸

発現事象	不安定	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

2. 薬剤名等：アルカリ

発現事象	不安定	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

3. 薬剤名等：熱

発現事象	不安定	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

4. 薬剤名等：重金属塩

発現事象	不安定	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

